

優しい嘘

～嘘は自立のはじまり～

昨年暮れに起きたマスメディア報道不倫三角関係の騒動で、お一人が(彼が多分優しい嘘をついてくれたんでしよう)と言っていたが、(嘘も方便)つまり相手を傷つけないように真実を言わないで、チョツとした嘘をつくことは毎日の生活の中でもよくありますね。真実を言ってしまうと混乱したり、関係がギクシャクしたり面倒なことにもなったりするからです。許される嘘と許されない嘘があることを大人は知っているはずですね。友人から全く好まない物をプレゼントされても、素敵ね！なんて言ってしまうものです。

昔から(嘘つきは泥棒の始まり)だから嘘についてはいけません…と親から教育されますが、嘘を全くつけないという大人も困ったものなのです。適度な嘘をつき秘密をもち距離を保つことは独立した人格形成には必要なことです。

子供が親に学習塾に行って来ます～と言いながら遊んで帰って来るとは親離れし、自立への練習です。癌患者にあなたはもうすぐ死にます～とは言いにくいので言葉にオブラートを上手にかけたり、わざと誤解を招くような嘘を言ったりというごともありますね。

今まで嘘をついたことがない！とかいう大嘘つきはともかくとして、優しい嘘と優柔不断は紙一重ですし、日々嘘ばかりついていると信頼関係がぎづけません。嘘の上塗り状態になり信用できない人とならないよう注意して、ユーモアや愛のある適度な嘘でコミュニケーションを学びたいものです。